

# カナダ金融政策（2024年7月）

## インフレ目標の達成が視界に入中、2会合連続の利下げを決定

2024年7月25日

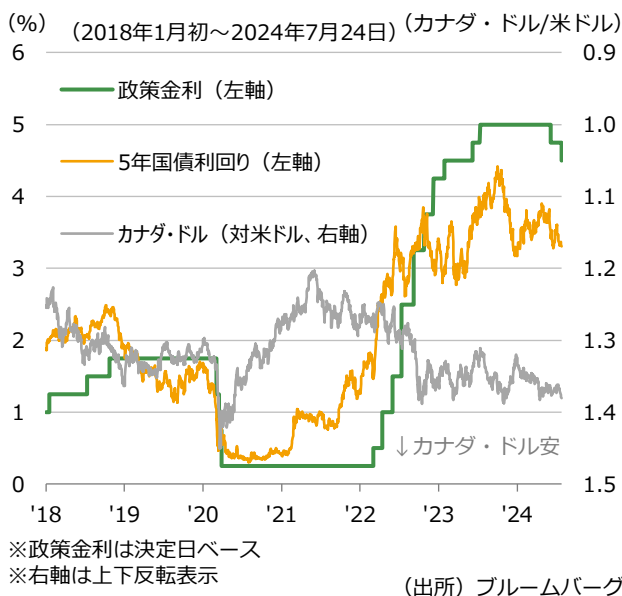
### 次回の決定は今後のデータ次第だが、利下げに傾斜している模様

カナダ銀行（中央銀行）は7月24日（現地、以下同様）に金融政策決定会合を開催し、市場予想通り政策金利を4.75%から4.5%に引き下げることと決定しました。利下げは2会合連続です。

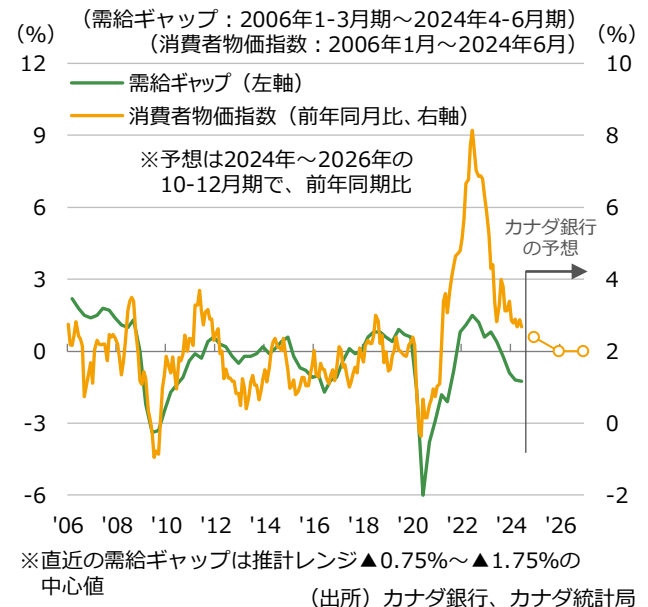
声明文では「広範なインフレ圧力の緩和が続いており、インフレ率が2%に近づくと予想されるため」と利下げ決定の理由が説明されています。今後の利下げについては「データ次第」とのスタンスを維持していますが、マクレム総裁は「インフレ目標の達成が視界に入っているほか、経済の供給過剰（需給ギャップのマイナス）が増しており、金融政策の討議においてインフレ見通しは下振れリスクの比重が高まっている」、「更なる利下げを予想するのは妥当」などと述べており、追加利下げに前向きな印象を受けます。

当面は経済の供給過剰が続く中でインフレ圧力が強まりづらいとみられることに加え、これまでインフレ率の押し上げに大きく寄与してきた住宅ローン利払い費の伸びが利下げによって減速することで、総合・コアともにインフレ率は低下しやすい状況が続くと考えられます。また、カナダが米国に先行して利下げしているにもかかわらず、カナダ・ドル（対米ドル）が近年のレンジ内で推移しており、こうした通貨の安定が維持されればカナダ銀行としても利下げを進めやすくなるでしょう。次回9月4日の会合でも利下げが決定されるかどうかは、7月消費者物価指数（8月20日発表）や4-6月期GDP（8月30日発表）などのデータ次第ですが、現時点では利下げの可能性が高いと考えられます。

#### カナダの金利と為替



#### カナダの需給ギャップと消費者物価指数



#### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。